

令和3年度 授業改善推進プラン 国語科 (大森第三中学校)

〈昨年度の授業改善推進プランの検証〉

★取り組みにおける成果と課題

- ・国語への関心・意欲・態度…授業展開に工夫をした。また、授業ごとに作成したプリントを使用したり、小テストを頻繁に行うなど、課題を分かりやすくした。そのため、目標をもって意欲的に授業に取り組める生徒が多くなった。
- ・話す・聞く能力…さまざまな機会に文章を書かせ、発表する機会を多くもっている。聞く力についてはリスニングテストを取り入れて、メモを取りながら要旨をしっかりと聞き取る力がついてきている。
- ・書く能力…さまざまな機会を使って、感想や意見を書かせる場をもってきた。身近な話題について書くことはできるが、表現を工夫して自分の考えを書くことについては継続指導中である。
- ・読む能力…一語一語の言葉の意味や、表現について丁寧に読む指導をした。そのため文章の読みが深まってきた。説明的文章については、筋道や筆者の考えの展開のしかたをつかんで読めるように指導している。
- ・知識・技能…漢字については、授業の中での小テストによって、反復練習を行っているため意欲が高まっている。文法事項については、まとめてでなく定期的に指導することで、苦手意識を持つ生徒を減らしていく。

〈国語科の内容別結果の分析〉(区・学習効果測定)

内容	1年生	2年生	3年生
言語の特徴や使い方に 関する事項	○【漢字の読み】3つの設問において正答率が9割を越え、目標値を上回った。1つの設問は正答率を下回った。 ○【漢字の書き】「改革」「冷」「任」の二字の正答率は目標値を超えているが、残りの「推測」の正答率は低く、目標値を下回った。 ○【文法・語句】全体的に目標値を上回ったが「敬語」に関する設問では目標値を下回った。	○【漢字の読み】概ね目標値を上回り正答率も9割を越えているが「けいび」に関しては目標値、全国平均を下回った。 ○【漢字の書き】「期限」「砂糖」の正答率は目標値を超えているが、「連」「耕」に関しては目標値を大幅に下回った。 ○【文法・語句】全体的に目標値を上回ったが「漢字の部首」に関する設問では目標値を下回った。	○【漢字を読む】は目標値を上回る設問もあったが、【漢字を書く】全ての設問において目標値を下回った。 ○【文法・語句に関する知識】は、目標値を上回ることができた。
情報する扱事 項方に	○【情報】2つの設問において、概ね目標値程度の正答率であった。	○【文章の内容を正確にとらえ、伝えたい事柄を明確にして書くことができる】の設問では、目標値を大きく下回ったが、【文章の内容をふまえて、文章の内容を明確に伝えるための写真を選ぶことができる】の設問では、目標値を大きく上回った。	○【グラフから読み取った内容を書くこと、また、それをもとに自分の考えを書くこと】両方の設問に対しても、目標値を上回ることができた。
我が国 に関する 言事語 項文	○【ことわざ】目標値に対して大幅に上回る正答率となった。	○【漢字の音訓】の設問は、目標値を大きく上回ったが、【漢字の部首】の設問では、大きく下回った。	○【敬語・文法・語句に関する知識】はほぼ目標値を上回るが、「同音異義語について理解している」の項目においては目標値を下回った。 ○【手紙を読み返し、適切な表現に書き直す】ことも、目標値を下回り、苦手とする傾向がみられた。
話すこと・ 聞くこと	○【話し合いの内容を聞き取る】設問全体を通して概ね、目標値程度の正答率であった。「話し手の目的に応じて、話の内容を捉えている。」では、基準点を大きく下回る結果になった。	○多くの項目において目標値、全国平均ともに上回っている。 ○特に「話し合いの話題をとらえながら、相手の発言を注意して聞き、自分の考えをまとめることができる」の項目では目標値を大きく上回っている。	○【話し合いの内容を聞き取る】設問全体を通して目標値を上回ることができている。特に「聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取ることができる」「話の内容を正確に聞き取り、資料を使って自分の考えを話す」において、目標値を大きく上回っている。「反論する」こともできていた。
書くこと	○目標値に対して正答率が全体的に高い。すべての項目において、目標値を大きく上回った。	○全体的に目標値を上回っているが、「文章の内容を正確にとらえ、伝えたい事柄を明確に書くことができる」の項目に関しては、目標値を大幅に下回った。	○段落構成への理解が不十分なのが気になるが、全体的に目標値を上回っており、「書いた手紙を読み返し、適切な表現に書き直すことができる」の項目においてのみ、目標値を下回った。
読むこと	○【説明的文章を読み取る】すべての項目で目標値を上回った。中でも「文章全体の構成を捉えて用紙を把握している」においては目標値を大きく上回る正答率であった。 ○【文学的文章を読み取る】すべての項目で目標値を上回った。中でも「登場人物の心情をとらえることができる」において高い正答率をとることができている。	○【文学作品の内容を読み取る】全ての項目で目標値を上回ることができている。「文章の情景を的確にとらえることができる」の設問では正答率が9割を越えた。 ○【説明文の内容を読み取る】全ての項目で目標値を上回ることができている。	○【文学作品の内容を読み取る】全体的に目標値を上回り、人物の心情を捉えられた。 ○【説明文の内容を読み取る】内容ごとに正答率に大きな差がある。「文章の展開に即して内容を捉えている」に関しては、目標値を上回るが、「構成や展開、要旨を捉える」に関しては、目標値を大きく下回った。

〈国語の観点別結果の分析〉(区・学習効果測定)

観点	1年生	2年生	3年生
知識・技能	<p>○漢字学習にとっても意欲的に取り組んでいる生徒が多い。しかし、習得した漢字を文章の中で使いこなせておらず、平仮名書きや誤字が多い。</p> <p>○内容に関して興味をもち、理解しようとする姿勢はあるが、主語や指示語等の理解が浅い生徒も多く、深い理解へは結びつかない場合も多い。</p> <p>○説明的文章を読むときに、序論本論結論を意識できている生徒が少ないので、構成の理解が必要となる。</p>	<p>○漢字学習にはよく取り組んでいるが、文章の中で使いこなせておらず、平仮名書きや誤字が目立つ。特に漢字を「書く」ことに関しては課題が多く残るため、毎授業の漢字テストなどを通し、漢字を「書く」習慣を身につけさせていきたい。</p> <p>○文法の知識が定着してきている。</p> <p>○読書習慣は浸透しているが、読書すること自体が苦手な生徒も多数存在する。図書室などを有効活用し、本に親しむ機会を増やす。定期的に読解力向上に向けて短時間での課題学習を行っていく。</p>	<p>○【伝統的な言語文化、言語に関する知識】に関して、目標値を下回る。実際に書く文章の中でも平仮名書きや誤字も多い。【漢字を読む】は目標値を上回る設問もあるが、【漢字を書く】全ての設問において目標値を下回った。</p> <p>○【文法の知識】に関しては努力の成果として良い結果につながっている。</p> <p>○読書習慣は浸透しているが、読書することが苦手な生徒もいる。【情報の扱い方】を伸ばすためにも、図書室などを有効活用し、興味をもたせ、本に親しむ機会を増やす。</p> <p>○自分の考えを正確に表現するために、語彙力を鍛える。</p>
思考・判断・表現	<p>○聞くことについては、集中して話し手の意図するところ、内容を理解しようとする姿勢をみせているが、一部集中して聞くことのできない生徒もいる。</p> <p>○話すことについては、内容をわかりやすく相手に伝えようと努力している姿勢が見える。しかし、語彙力や話の構成については課題が残るなど、今後努力していくべき点もある。</p> <p>○「書く」という行為自体に苦手意識を持っている生徒も多いが、自分の意見を書くことは比較的できている。</p> <p>○内容を理解したうえで表現をするという力が不足している面もある。</p> <p>○作文や創作活動などで、とても意欲的に取り組む生徒も見られる。</p>	<p>○聞くことについては集中して話し手の意図するところ、内容を理解しようとする意識が高い。</p> <p>○話すことについては、一生懸命話そうとする意識はあるが、スピーチ等で原稿を暗記して発表するなど、伝えようとする力、順序立てて相手に伝える力が不足している。</p> <p>○書くことに関しては文章の構成や段落についての理解は高まっているが、順序立てて文を構成することを苦手とする生徒が目立つ。</p>	<p>○【話すこと・聞くこと】に関して、目標値を上回るものの、聞かれた内容を、聞かれている幅で答えることが苦手な生徒が多い。勝手な判断でなく、正確に聞き取る力を身につけさせる。スピーチ、発表等で、周囲に分かりやすく聞き取りやすい話ができる生徒もいるが、自信をもてない場合もある。取り組む機会を増やすことを目指す。</p> <p>○【書くこと】に関して、目標値は上回るものの、より良い文章に仕上げようと努力を重ねる生徒も、なかなか書き表せない生徒もいる。課題について考えを深め、構成を工夫して書く力を伸ばすことを目指す。自分の考えをわかりやすく伝えることを意識させる。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>○全体的に落ち着いており、学習意欲の高い生徒が多い。</p> <p>○発言はとても積極的であり、誤答をこわがらずに発言できる姿勢がある。</p> <p>○課題に対しても意欲的に取り組む生徒が多く、ワークやノートには発展的な記述が見られる。</p>	<p>○何事にも一生懸命で、授業に対しては前向きな姿勢を見せる生徒が多い。課題などに自主的に取り組む生徒も多い反面、授業中の集中力に欠ける生徒もいる。小テストなどには特に意欲的である。</p>	<p>○【関心・意欲・態度】に関して、目標値は上回り、授業にも前向きな姿勢をもつ生徒は多い。集中力が続かない生徒の意欲を喚起することを目指す。</p> <p>○小テストや提出物に意欲的である。地道に努力して覚えたり、考えたりする作業を避ける傾向はあるので、粘り強さをもつことが大きな課題である。</p>

〈国語科の課題と具体的な授業改善策〉

	課 題	具体的な授業改善策
1年	<p>○筋道を考え、話す、書く姿勢と力をつける。</p> <p>○文章表現に注意して必要な情報を的確に読み取る、聞き取る力を高める。</p> <p>○小学校学習漢字の復習を行う。中学校で習得すべき漢字の定着を図る。</p>	<p>○さまざまな文章を書かせる機会を増やし、それらを発表する機会を通して、書くこと、話すことの充実を図る。また、定期的に課題を設けて書くことを行い、文章構成・テーマを意識して書く力を養っていく。</p> <p>○漢字は定期的にテストを行い、繰り返し学習をすることにより、定着を図る。確実な習得に繋がるよう範囲を短くし、生徒たちのやる気に繋がるようにテストを行っていく。</p>
2年	<p>○話の意図を理解しようとする、「聞く意識」を身につける。</p> <p>○自身の意見を考案する際に、順序立ててして筋道を考え、意見を要約して話す(書く)力をつける。</p> <p>○読解力向上を目指す。</p> <p>○漢字の知識の定着を図り、知識の習得とともに語彙力の向上をねらう。</p>	<p>○グループワークやプレゼンテーション等発表の機会を増やす。</p> <p>○折に触れて作文を書かせ、「書く」という作業に対する抵抗を少なくしていく。</p> <p>○読解問題に特化したプリントを作成し、定期的実施する。</p> <p>○漢字テストを毎時間行い、反復練習により定着を図る。</p>
3年	<p>○文章を落ち着いてしっかりと読み、内容を正確に捉え、その内容に対して自分の思いをもつ。</p> <p>○話の意図を理解しようとする、「聞く意識」を身につける。</p> <p>○筋道を考え、相手に分かりやすく「話す」、「書く」力をつける。</p> <p>○漢字、文法の知識の定着を図り、使える語彙力の向上を目指す。</p>	<p>○自分の考えを正確に表現するために、語彙力を高める場面を作る。</p> <p>○単元別や漢字などのテストを定期的に行い、反復練習により定着を図る。</p> <p>○文章を書く、発表する機会を増やす。</p> <p>○読み慣れることで古典の苦手意識を克服する。</p>